

令和4年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立日宇中学校		作成者	職名	副校長
電話番号	0956-31-2255			氏名	桃坂 靖
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	不祥事根絶宣言 体罰・不適切な指導の根絶			
<u>取組の評価・改善点</u> <p>○教職員の綱紀の保持については、校長による全体指導で、定期的の問題提起を行い、教職員の不祥事根絶の意識を高めることができた。</p> <p>○全職員に「体罰・不適切な指導」根絶宣言を作成させ、コピーを週案等に貼らせ、常に目に留まるようにした。業績評価票の「体罰によらない指導」を記入後、当初面談で教職員から校長、副校長へ口頭で報告させて意識付けを行った。</p> <p>○ハラスメント相談窓口を教職員からの推薦で、教務主任と養護教諭に決定した。今年度の相談件数はゼロであった。</p> <p>○教職員にわいせつ行為防止のための自己分析チェックシートを渡し、時間を取って実施するように指導した。また、結果に応じて相談窓口の紹介も行った。全教職員実施終了の報告を受けることができた。</p> <p>○駐車場借受申請書に運転免許有効期限を記入させ、現物と照合確認することができた。</p>					
7月	実施テーマ	体罰・不適切な指導の根絶 情報セキュリティ対策の徹底			
<u>取組の評価・改善点</u> <p>○教職員の綱紀の保持については、夏季休業に入る前に校長が全体指導を行い、教職員の意識を高めることができた。</p> <p>○アンガーマネジメントと子どもの人権について研修は時間の確保ができず、9月以降に実施することにした。</p> <p>○情報セキュリティについては、本校独自のセキュリティポリシーを作成し、監査の指導内容も含め、全教職員に周知、確認することができた。情報資産の持ち出し時には、許可申請をすることが意識付けできた。</p> <p>○安全運転の徹底、無免許、飲酒・酒気帯び運転の根絶については、副校長から職員会議時に指導を行うことができた。</p> <p>○部活動のガイドラインについては部活動担当から確認がなされ、指導の在り方については校長から部活動顧問に指導がなされた。部活動計画書提出時に校長、副校長で、違反にならないようにチェックを行い、気になる計画については部活動顧問に指導を行った。</p>					
12月	実施テーマ	体罰・不適切な指導の根絶 職場環境の改善			
<u>取組の評価・改善点</u> <p>○教職員の綱紀の保持について、冬季休業に入る前に校長が全体指導を行い、教職員の意識を</p>					

高めることができた。

○子どもの人権について考える研修については、SCコーディネーター研修会の伝達研修を行い、カウンセリングについての理解を深めることができた。

○体罰根絶・アンガーマネジメントについての研修については、3月1日に本校SCを講師に迎えて実施する。

○安全運転の徹底については、慣れている道ほど危機意識をもって運転する必要があることを校長が職員朝会で指導し、注意喚起をすることができた。また、副校長が運転免許の有効期限が近づいている教職員に声を掛け、確実に更新をさせることができた。飲酒・酒気帯び運転の根絶については、特に年末年始の時期と飲酒翌日の午前中に気をつけるように指導し、注意喚起することができた。

○公金処理の確認について、校長、副校長、教頭で会計簿と通帳を考査して、処理が適正に行われていることを確認することができた。

2 服務規律委員会

委員会名	佐世保市立日宇中学校服務規律委員会
構成員	所属内委員（9名）、外部委員（1名 役職等：PTA会長）

3 年間を通しての計画の達成状況

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	ウ	オ	カ	キ	ク	ケ		
その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）									

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

(○) できた	() 概ねできた	() 少し不十分	() できなかった
---------	-----------	-----------	------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

(○) できた	() 概ねできた	() 不十分だった	() 実施していない
---------	-----------	------------	-------------

資料添付 有 ・ 無

別表	校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）
----	----------------------------------

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。